

関西国際空港及び神戸空港の飛行経路見直し（案） 住民説明の結果概要

兵庫県土木部空港政策課

Hyogo Prefecture

Contents

Chapter 01 住民説明の結果概要	
住民説明の結果概要	01
Chapter 02 いただいたご意見について	
いただいたご意見について	02
Chapter 03 主なご意見と、県の考え方	
主なご意見と、県の考え方	03



住民説明の結果概要

兵庫県では、神戸市・関西エアポート(株)と連携し、関西国際空港・神戸空港の飛行経路見直し(案)について、11月13日(月)から12月4日(月)にかけて淡路島3市の各地域(13か所・16日間)で住民説明を行いました。

住民説明では、のべ183人の方に来場いただきました。

洲本市			淡路市			南あわじ市		
日付	場所	来場者数(人)	日付	場所	来場者数(人)	日付	場所	来場者数(人)
11/13(月)	五色庁舎	5	11/20(月)	一宮事務所	10	11/28(火)	広田地区公民館	11
11/14(火)	由良支所	10	11/21(火)	北淡事務所	8	11/29(水)	湊地区公民館	3
11/15(水)	市役所	24	11/22(水)	岩屋事務所	20	11/30(木)	福良地区公民館	3
11/16(木)	市役所	10	11/24(金)	市役所	23	12/1(金)	市役所	13
11/17(金)	市役所	10	11/27(月)	東浦事務所	20	12/4(月)	市役所	3
12/3(日)	文化体育館	10	小計		81	小計		33
小計		69				合計		183

いただいたご意見について

住民の皆様からは、新飛行経路(案)について、淡路に人が増えるなら賛成、淡路の振興に役立ててほしいなど、期待するお声もいただく一方で、騒音など環境面に対する心配・懸念、運用開始後の対応に関する意見、また、現在の運用に関する問題など、様々なご意見・ご指摘をいただきました。

これらを元に、兵庫県として、国に要望していく新飛行経路(案)への改善意見等を検討しました。その内容は、今回開催された第3回「新飛行経路案に係る環境検証委員会」の中間とりまとめに反映されています。

主なご意見と、県の考え方

住民説明でいただいた、環境面での心配・懸念等に関するご意見とそれに対する県の考え方は以下のとおりです。

[環境面での心配・懸念]

主な意見	県の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 航空機音が生活に影響を与えないか心配。 近隣に小中学校があるので心配。 今は音がそれほど気にならない。今を維持してほしい。 神戸空港出発便の3,000ftの音が問題。 	陸域上空における高高度での飛行など、騒音軽減につながる運用を国に求めています。
<ul style="list-style-type: none"> この経路で24時間飛ぶのか。夜間は現在と同じく考慮されるのか。 関空国際便は夜も多いので、夜間どうなるかが気になる。 	現在と同様、深夜・早朝時間帯（23:00～翌6:30）は陸域上空を飛行しない運用を国に求めています。
<ul style="list-style-type: none"> 新飛行経路（案）について、どのような音になるのか教えてほしい。 	実績に基づいた高度別騒音レベルを予想しました。（資料3）

主なご意見と、県の考え方

主な意見	県の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 「努めて海上を飛行し、低高度では陸地上空を飛行しない」という関空開港時の約束を反故にしているのではないか。 	今回の見直しは、国において、公害のない空港という海上空港の基本理念が尊重し検討された案と受け止めています。
<ul style="list-style-type: none"> 牛などが敏感で、騒音の影響で乳が出ない、餌を食べなくなるなど聞いている。 	関係機関と監視体制を検討します。
<ul style="list-style-type: none"> テレビ電波に影響があるのでは。 	現在の地上デジタル放送は、電波障害に強いとされています。 航空機による電波障害が発生した場合は関西エアポート(株)が必要な対策を講じることです。

主なご意見と、県の考え方

[安全面での心配・懸念]

主な意見	県の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 増便しても事故がないようにしてほしい。 航空機事故への対策は？ 落下物による事故が心配だ。 	<p>航空分野では、システムのバックアップや落下物に対する厳しい基準など安全に対してあらゆる取り組みをおこなっていると聞いています。</p> <p>今後とも国や航空会社、空港管理者等に対して、安全対策の徹底を求めています。</p>

[運用開始後の対応に関する意見]

主な意見	県の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 実際の運用が始まらないと、分からない。騒音測定はしてもらえるのか。 監視体制を強化するべきだ。 経済と環境は別。環境を良くする努力を。 	<p>関西エアポート(株)や神戸市、国土交通省と連携し、飛行経路の運用が適切になされるよう、環境監視体制強化に取り組めます。</p>

主なご意見と、県の考え方

[現在の運用等に関する疑問・不満や、その他のご意見]

主な意見	県の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 今でも経路と違うところを飛んでいることがある。高度も低く感じる。 今でもうるさい。朝から晩まで飛行機が上を飛んでいる。 	<p>国土交通省や関西エアポート(株)と連携し、現在の飛行経路の運用状況についても確認を行っていきます。</p> <p>確認した内容は、関係者共有し、適切な運用がなされるよう体制を構築します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> Lden（平均の音）は意味がない。単発の騒音が問題だ。 	<p>Ldenは個々の騒音値の継続時間や発生回数も考慮された値です。国が定めたこの基準(Lden)を超えないことが重要であるため、シミュレーションにより予測し、基準を超えないことを確認しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> シミュレーションで作成した騒音予測図(コンター)では信用できない。 	<p>シミュレーションで作成した騒音予測図(コンター)においては、環境アセスメント等でも使用されている手法であり、精度は担保されていると考えています。</p>

